

# 設計図書等に関する回答書

令和5年12月8日

福島県教育委員会教育長

委託番号	第23-70011-0019号
委託名	須賀川支援学校災害復旧工事基本・実施設計委託
質 問 事 項	
<p>1 委託業務概要内容の校舎改修3棟について、別添基本計画「8 施設整備の概要」欄にある水 治訓練室棟(E棟①)は改修対象外として宜しいでしょうか。</p> <p>2 基本計画「11 整備スケジュール(想定)」令和7・8年度に解体工事が予定されていますが、 解体設計は委託業務対象外として宜しいでしょうか。</p> <p>3 基本計画「1 はじめに」より国立病院機構福島病院から児童生徒の3割程度が通学してい るとのことですが、重症心身障がい児病棟「わかかさ病棟」を含む病院内施設配置がわかる図 面について貸与いただけますでしょうか。</p> <p>4 同じく今回の新校舎整備後も福島病院からの通学があると思われませんが、現在東側に整備 されている病院からの渡り廊下を取壊し、新たに西側に設置することは可能でしょうか。そ の場合福島病院敷地内の施設玄関や車両通行との弊害は有りますでしょうか。</p> <p>5 基本計画「2 本校の概要」より令和3年、4年の被災によりA棟(管理棟・特別教室)、B棟(普 通教室)については大破・中破の判定がなされているとのことですが、現状A、B棟共に全く 使用していないとの解釈で宜しいでしょうか。また、使用していない場合は設計期間中に当 該校舎を解体することは可能でしょうか。</p> <p>6 基本計画「7 復旧する学校規模」に学級数の指定が小学部9学級、中学部5学級、高等部、 16学級 計30学級とありますが、基本計画「8 施設整備の概要」の(7)各諸室の構成及び(8) 復旧する諸室の想定規模に記載のある普通教室が復旧対応10教室(A、B棟分)の他、わかか さ学習棟で8教室合計18教室となっています。普通教室学級配分の詳細について棟ごとに ご教示お願い致します。</p> <p>7 基本計画「8 施設整備の概要」(3)改築校舎の構造について構造方式の指定ありますが、記 載の内容を踏まえ、こちらで設定・提案するものと考えて宜しいでしょうか。</p>	

- 8 基本計画「9 概算事業費」に工事費記載がありますが、物価上昇等による事業費の見直し等はあるものとして考えて宜しいでしょうか。
- 9 基本計画「11 整備スケジュール(想定)」令和5年度に仮設校舎建設が予定されていますが、想定している仮設校舎の位置や規模、設置期間についてご教示お願い致します。
- 10 今回の設計に開発許可申請が含まれていますが、開発及び造成に係る内容で、現状いただける情報等ございますか。(ex. 調整池の可否等)
- 11 敷地内のおおよその高低差がわかる資料について貸与いただけますでしょうか。
- 12 全児童・生徒数の約70%が重複障がいとなっておりますが、重複障がいの内容及び人数についてご教示お願い致します。また、車いすなどの利用割合も併せてご教示お願い致します。
- 13 スクールバスや自家用車による送迎の状況についてご教示お願い致します。
- 14 概略平面図のご提示お願い致します。

#### 回 答 事 項

- 1 改修対象外です。
- 2 解体設計は別途発注するため、本業務の対象外です。
- 3 別添Aを参考としてください。
- 4 学校敷地内であれば渡り廊下の位置を変更することも可能です。学校敷地内であるため、福島病院の施設玄関等との弊害はありません。
- 5 現在、立入禁止としています。解体工事の工期は整備スケジュール(想定)のとおりで、設計期間中に解体工事が完了することはありません。
- 6
  - ・基本計画「7 復旧する学校規模」の学級数については、被災時の全学級数を記載しています。被害のない教室分も含まれていますので、復旧する教室は、「8(8) 復旧する諸室の想定規模」の諸室になります。
  - ・わかくさ学習棟については、学部合同で使用しますので、普通教室ではなく、学習室で整理しています。
  - ・使用する棟は、学部の学級数によって年度毎に異なります。現段階では、A・D棟が高等部、B棟が中学部と高等部、C棟が小学部を想定しています。
- 7 構造方式は想定であり、詳細は基本・実施設計で設定・提案願います。
- 8 物価上昇等による事業費の見直しは、必要に応じて対応の検討を行います。

- 9 1 km程度南にある旧看護学校の西側に設置する予定で、規模は970 m<sup>2</sup>程度であり、改築が完了するまでの期間設置する予定です。
- 10 開発協議に関する現時点でお示しできる情報はありません。
- 11 別添Bを参考にしてください。  
なお、別途、測量調査業務委託を実施しています。
- 12
- ・須賀川支援学校は、病弱の特別支援学校なので、主たる障がいは病弱（慢性疾患や精神疾患、呼吸器系疾患等）になります。重複障がいは、主たる障がい以外の障がいを併せもちます。
  - ・重複障がいの児童生徒は、47名（87名中）在籍しており、本校舎が28名、わかかさ病棟が19名になります。病弱以外の障がい種は、主に知的障がい、肢体不自由になります。
  - ・車いすを使用している児童生徒は本校舎が1名、わかかさ病棟が20名となります。
- 13
- ・自家用車での送迎が50名程度、通学バス利用の児童生徒が5名程度となります。また、公共の交通機関を利用して自力通学する生徒（高等部）が15名程度となります。その他の生徒は病棟入所となります。
- 14 別添Cを参考にしてください。